

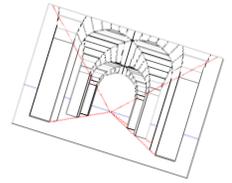


CONTENTS

Essay

あなたの目は正しいですか？
ユーザーインタビュー
センターから
インターンシップを体験して
スタッフインタビュー
SAGAイベントのご案内
おすすめランチ
編集後記

あなたの目は正しいですか？



特任顧問 川戸清爾

私が水彩画を描き始めたのは、毎日片道2時間の通勤がつかなくなって常勤を止め、非常勤の顧問をお引き受けした2005年のことです。それを機会に、自分の住んでいる地域に知り合いが殆どいない状況を解消すべく、地元海老名市の高齢者向けの教養講座、スポーツ教室の誘いに応募し、参加しました。そのうちで、今も続けているのが、水彩画教室のOB会です。おかげで地元で大勢のお絵かき仲間ができました。

対象が風景であっても静物であっても、絵画というのは、三次元に見えているものを二次元の紙の上に描きます。したがって、紙に描いた平面的事物に奥行き感・立体感をもたせるために、「錯視」を利用した様々な工夫が必要となるわけです。奥行き知覚を成り立たせる手がかりには、a) 平行線は遠くにいくと収束する（線遠近法）、b) 遠ざかるにつれて「きめ」が細くなる（きめの勾配）、c) 遠くの対象は、ぼけて見える、また色が薄く見える（空気遠近法）などがあります。また立体感には、d) 対象に当たる光に応じた陰影によってもたせられますし、e) 色の効果（進出色、後退色の組み合わせ）でも表されます。

図1(a)は、「線遠近法」と「きめの勾配」によって奥行き感を出すよく知られた例で、遠くへ延びる線路と枕木の構図です。A地点が手前でB地点が奥というふうに見えますね。(b)はどうでしょう？「きめの勾配」を除いて横線の間隔を等しくしました。これでは奥行き感はなく、A地点に立てられた傾いた支柱に等間隔の踏板が置かれた「造園用三脚のはしご」のように見えます。このように、人は眼球の網膜に映った二次元像を、脳で経験に照らして三次元再構成をして、判断をくだしているのです。

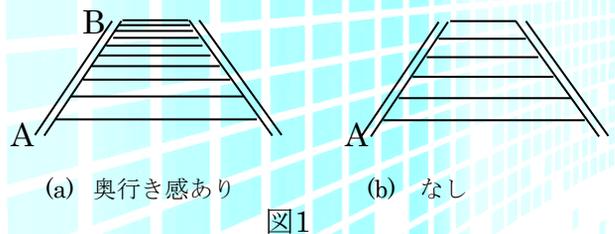
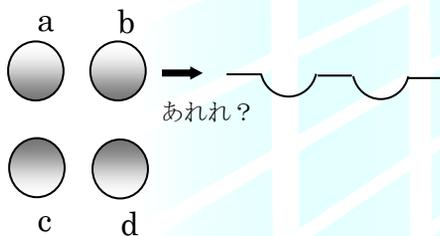


図1

次に「立体感」について考えてみましょう。ここで取り上げるのはクレーター錯視というものです。これは、絵画を描く場合だけでなく、材料科学の研究者が顕微鏡を使って材料表面を観察し、それをプレゼンテーションするときの注意事項にもつながります。

図2(a)には、4つの円形が描かれています。そして上列の二つ(a, b)には下方に影を、下列の二つ(c, d)には上方に影を付けました。するとa, bは凸状に、c, dは凹状に見えます。ところで、この図形を上下逆にして見ますと、a, bが凹状に、c, dが凸状に見えるではありませんか。これが、いわゆるクレーター錯視と呼ばれるものです。



(a)陰影による立体感 (b)実際の断面形状

図2

あなたの目は正しいですか？

さて、実際に材料の表面を顕微鏡観察して、図2のa, bのように見えたとします。本当は凸でしょうか、凹でしょうか。注意深い観察者は、焦点位置を上下にずらして、凸か凹かを判断するでしょう。それでも心配なときは、表面粗さ計を用いてプロファイルを測定します。その結果、図2(b)のような断面形状が得られたとします。なんだ、実際は「窪み(凹)」だったのか！ということになります。この場合は、プレゼンテーション用の図形としては、画像a, bは上下逆にして示さなければなりません。このままだと、人は凸と見てしまうからです。

実際にこんなことが起こるのかと思う方がいらっしゃるかもしれないので、以下に私の経験したことを述べたいと思います。結晶工学の分野では、単結晶材料の結晶性の良否を簡単に判定するために、化学エッチング法が使われます。通常は、転位の近傍のひずみ領域でエッチング速度が速くなって、ピット(pit, 窪み)が形成されるので、ピットの数を数えて転位密度を求めます。かつてシリコンの結晶欠陥制御法の研究をしていたとき、シリコンを熱酸化するとき生じるフランク型の転位ループ（熱酸化積層欠陥とも呼ばれていた）を観察対象としたことがあります。

エッチング後にこの結晶欠陥を光学顕微鏡で観察すると、積層欠陥部分が線状、その端部2個所に小さな円形の転位像（イメージ）が見られました。当初は、常識的にピット(窪み)だと思っていたのですが、注意深く観察すると、「どうもこれは違うぞ、出っ張っている。ヒロック(hillock, 突起)だ」ということが分かってきました。図3に走査電子顕微鏡（SEM）像を示します。二つのヒロックが転位部分で、上側が明るく、凸に見えるでしょう。ところで、この図を上下逆に表示したら、凹に見えます。図2 (a)に示した錯視の実例です。

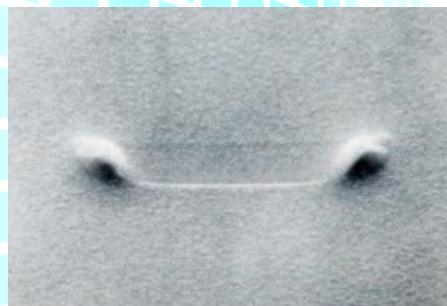
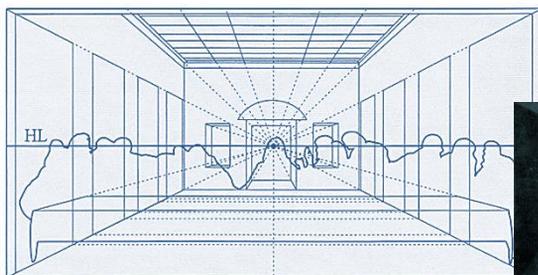


図3 シリコンを熱酸化したときに発生する転位ループのエッチング像

こういったクレーター錯視は、山や谷が示された地形図上でも起こります。上下逆にするとうちの部分が見えたりします。当然のことですが、材料表面の形状を観察する場合や、X線トポグラフィで格子面の湾曲を観測する場合にも起こりうることです。プレゼンテーションするとき、表示には注意が必要です。

最後に筆者からのひとこと：「イメージングを扱う研究分野では、注意深く形状の凹凸や湾曲の向きを確認し、誤解を与えないように正しく表示しましょう」 以上です。



User Interview

今回は株式会社コベルコ科研の稲葉様と
佐賀県果樹試験場の納富様にお話を伺いました。

Profile



稲葉 雅之 様

株式会社コベルコ科研
材料ソリューション事業部
エレクトロニクス技術部
表面・物性解析室

1992年株式会社コベルコ科研入社。XPS, SIMS, RBSなどの物理分析手法を用いた分析業務・技術開発に携わる。放射光利用はSPring-8・BL16XU/B2の運営・管理団体である産業用専用ビームライン建設利用共同体（サンビーム共同体）に親会社である神戸製鋼所に協力する形で参画したことから本格化し、XAFS, XRDを主体とした材料評価手法の開発・高度化を進めてきた。近年は軟X線領域の利活用にも取り組んでいる。

Q3 シンクロトロン放射光を使われた感想はいかがですか。測定手法など含めて教えてください。

強力な光源を用いた特徴的な分析手法が利用でき、実験室型装置では得難い知見が得られる点が非常に魅力です。その場実験との親和性が高く、状態・局所構造情報が取得可能な硬X線領域のXAFSは当社業務上非常に利用価値が高いと感じています。一方で実験室型装置と比較して測定機会や実施時期が限定的になる点は否めません。「ツボにはまった」成果を得るには、試料準備や利用計画といった十分な準備と得られたデータの解釈・吟味が必要になると考えています。時間が掛かるケースも多いことから、顧客や共同研究者に施設や手法の内容・状況を十分説明し、正しくご理解いただくことも重要と考えています。

Q4 貴機関におけるシンクロトロン放射光利用の位置付けを教えてください。

基本的には他の分析手法と同様の「顧客課題解決のための分析ツール」のひとつであると考えています。以前は強力だが対象が限定的な「ピンポイントの研究ツール」であるニュアンスが強かったですが、XAFSやXRDを筆頭に各施設からの公開成果の増加、利用スキームの改善・多様化および当社経験の蓄積などが進み、広範な対象において実験室型装置と同レベルでの利用・評価・相補解析ができるようになってきました。しかしながら施設側のご尽力による先端的な手法開発も歩みをゆるめることなく進められていることから、今後も「分析ツール」と「研究ツール」の両面での利活用を検討していきたいと考えております。

Q5 当研究センターへのご要望、今後の抱負などお聞かせください。

当社の業務形態上、急ぎ・飛び込みでの利用打診や従来経験の無い測定対象での測定打診などが多くなっており、無理なお願いはかりしている点については恐縮しております。一方で、いつも最善を尽くしたご対応を提案いただいている点について感謝いたしております。測定機会・実施時期は常に継続的な課題とは思いますが、今後も迅速対応についてご検討いただけると幸いです（SPring-8等で実施されている測定代行も一案かと考えております）。当社としては放射光利用を拡大するひとつの「窓口」、および施設側（シーズホルダ）と潜在的ユーザ（ニーズホルダ）を繋ぐ「橋渡し」としての役割を果たしていきたいと考えておりますので、引き続きのご協力を賜れますと幸いです。よろしくお願いたします。



研究を進めるうえでのスタンスやポリシーなど、一言お願いします。

できるだけ多くの方々のご意見を伺うことと、現状を踏まえたうえで新しい提案ができないか知恵を絞ることを基本スタンスとしています。「So Far, So Good... So What!」（アメリカのヘビーメタルバンドMegadethのアルバムタイトル。「これまではそこそこ順調だ…だから何だ」の意）という姿勢でこれからも前向きに業務に取り組んでいきたいと考えております。



Q1 日頃、どのような研究をされていますか。

顧客から頂戴した分析依頼への対応を行っておりますが、高度化するニーズに応じるべく、その場測定や適用領域拡大などの技術開発にも並行して取り組んでおります。社内の役割分担上、放射光利用手法をベースにした課題解決から検討を行いますが、必要に応じて保有する実験室型装置の相補的な利活用も行っております。

Q2 当研究センターご利用のきっかけを教えてください。

ビームライン（県有BL12）設計立上げの際、当時協力関係にあった大学とともにお手伝いさせていただいたことがきっかけです。本格的な利用に至るにはしばらく時間が掛かりましたが、近年二次電池材料への取り組み（ワンストップ評価）を進めるなかで、特に軟X線領域での測定での利用が多くなりました。





User Interview

Profile

Q1 日頃、どのような研究をされていますか。

果樹試験場は4つの研究担当に分かれていますが、私は品種開発研究担当に所属し、佐賀県オリジナルブランドづくりを目指して、「おいしい・作りやすい・収益向上」をキーワードにカンキツ類の新品種を開発しています。自分が主に担当している分野は香酸カンキツ類（ユズやスタチなどの仲間）に含まれる機能性成分の分析、放射線育種による効率的な新品種の作出法の検討などです。

Q2 当研究センターご利用のきっかけを教えてください。

平成19年に九州シンクロトロン光研究センターが開所し、当時の係長がカンキツ育種への利用を検討し始めたのがきっかけです。それまでは果樹における放射線育種はガンマ線で行われていた程度で、重イオンビームやシンクロトロン光などを果樹に利用する取り組みは非常に珍しかったと思います。実際の試験では、数年かけて新品種作出に最適な照射線量を決定するところからスタートしたと聞いています。

Q3 シンクロトロン放射光を使われた感想はいかがですか。測定手法など含めて教えてください。

放射線といえばレントゲンくらいしか知らなかったのですが、見るものすべてが新鮮でした。回折などに利用するシンクロトロン光が点状に集められて利用されるのに対し、植物の育種で使うシンクロトロン光は線状に出てくるというのも初めて知り、いろいろ勉強になりました。

Q4 貴機関におけるシンクロトロン放射光利用の位置付けを教えてください。

放射線突然変異の誘発による効率的な新品種育成のため利用しています。果樹では事例がほとんどないのですが、花や菌の世界では近年放射線突然変異により新しい品種がたくさん出てきているので、今後生育が進むにつれていい結果が出てくるのを期待しています。



Q5 当研究センターへのご要望、今後の抱負などお聞かせください。

カンキツでは新品種を作るのにおよそ20年かかると言われます。シンクロトロン光を照射しても、実際に結果が出るまでかなりの時間を要するので、なかなかいい報告が出来ないことを心苦しく思っております。過去に照射した植物体は場内で育成中ですので、結果が出るまでもうしばらくお待ちくださいますようお願いいたします。今後もシンクロトロン光をはじめとする様々な技術を利用して、新品種開発の大きな流れの中で少しでも役に立てればと思っています。

 研究を進めるうえでのスタンスやポリシーなど、一言お願いします。

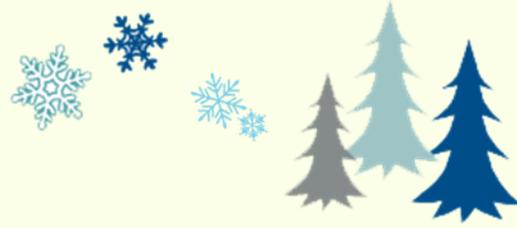
「消費者に喜ばれるモノ」づくりが大事であると言われてますが、同時に「生産する農業者に喜ばれるモノ」であることが重要と考えており、どちらにも喜ばれるモノを作りたいと思っています。

平成4年佐賀県庁入庁。果樹担当の技術職として現地機関(果樹試験場、農業改良普及センター)に勤務。現在、果樹試験場品種開発研究担当5年目。シンクロトロン光を含め放射線育種を担当するようになってからは3年目。



納富 麻子 様
佐賀県果樹試験場
品種開発担当





● 研究成果報告会（2016年8月3日）

平成28年8月3日、サンメッセ鳥栖にて【イノベーションを創出するシンクロトロン放射光の産業利用】と題して第10回研究成果報告会を開催いたしました。

今回は、東京大学の雨宮慶幸先生による記念講演『ナノ世界を可視化する放射光科学－基礎から最先端まで－』をはじめ、各界で活躍されている先生方にご講演いただきました。さらに、当研究センターをご利用いただいている皆様より、様々な研究成果について発表いただき、開所10周年という節目にふさわしい充実した報告会となりました。



● サマースクール（2016年8月24日～26日）

平成28年8月24日から8月26日の3日間、当研究センターにてSAGA-LSサマースクール2016を開校いたしました。全国各地より7名の学生が集まり、シンクロトロン放射光の持つ様々な特性を座学および実習を通して学んでいただきました。また、参加者の皆様同士、ポスター発表などを通して、積極的に交流されていました。短い期間とはいえ、放射光について今回のサマースクールで学ばれたことが皆様それぞれの研究にお役に立ちますよう、職員一同願っています。





● 一般公開（2016年10月1日）



平成28年10月1日、当研究センターの一般公開を開催いたしました。普段立ち入ることができない実験ホールの見学ツアーやクイズラリー、わくわく科学教室での講演、工作体験などなど、様々な年代の方々に様々な形で【科学】を体験いただくイベントを楽しんでいただきました。来年の一般公開にもぜひ遊びにいらして下さいね！



● イベント出展（SAGAものスゴフェスタ2016・産総研一般公開）

平成28年8月27日、28日に、佐賀県立総合体育館で開催された【SAGAものスゴフェスタ2016】にブース出展いたしました。子どもたちに光が七色に見えるハッピーメガネを作ってもらい、光の性質を学んでいただきました。



平成28年9月3日には鳥栖市にある産業技術総合研究所九州センターに、ブース出展いたしました。こちらでも子どもたちにハッピーメガネの工作を通して楽しみながら光について学んでいただきました。



インターンシップを体験して

久留米工業高等専門学校
物質工学専攻一年
古賀達也



私は久留米工業高等専門学校の専攻科1年に所属しており、学会や講演会など最新の研究に触れる機会が多くなってきました。その度に感じた事は、人の役に立つ研究であるほど専門分野の幅が広いということです。昔に比べて、複合分野の必要性が高まっていると先生方から良く聞かされており、研究者に必要な知識が膨大になっていることは明らかです。学生が授業以外に新たな知識や技術を得る場として、私はこのインターンシップを選択しました。SAGA-LSには、私が普段触れることのない放射光を利用した測定機器や分析装置が並んでいます。その基礎知識や機器を扱う技術を学習し、私の将来の糧とすることを意識してインターンシップやサマースクール2016に参加させていただきました。また、企業や大学ではない公的研究機関の業務は、進路を決定する上で貴重な体験になるため、公的研究機関で働くことについて考えようと思いました。



ただ今実験中♪

技術実習やサマースクールでは放射光に関する基礎知識や放射光を利用したXAFSやXPS、X線回折など様々な機器について学びました。特にXPSは、今後私が最も使用する可能性が高い分析方法であったために、測定実習を何度かさせていただきました。XPSは超高真空下で行う測定であり、非常に精密で迅速な操作が要求されます。さらに有機薄膜の測定は難易度が高いこともあり、失敗もありましたが、研究員の支援を受けつつ、なんとか測定することができました。なかなか上手くいかなかった経験は、今後の測定の役に立たせたいと思います。

他に体験した研究支援の実習や事務実習では、大学や企業とは異なる公的研究機関の特徴について考えました。まず、SAGA-LSは、企業と異なり利益ではなく、研究支援によるイノベーションの創出が目的です。したがって先端的な研究は比較的安価で利用できます。一方で大学と異なる点は、測定装置等設備の規模が桁違いであること、ある分野でより高度な学問が展開されること、研究員に求められる専門知識の幅がかなり広いことがありました。これらを理解することは、公的研究機関の利用や働くことを考えるときに判断材料として役に立ちます。

約三週間あったインターンシップはあっという間に過ぎ、あらゆる面で私の視野を広げられました。この経験で得たことが役に立ったと言えるような、今後の学生生活や社会人としての人生を歩んでいきたいと思います。



Staff Interview



今回は総勢5名のスタッフをご紹介します。

副所長 林 博幸



Q1 業務内容や今後の抱負などを教えてください

県庁から当研究センターに出向という形で、本年4月に副所長として着任しました。

業務内容は、所内の統括補佐として、主に財務用務（収支管理、予算）、契約用務、組織・人事用務、防災、研修関係用務、県庁との連絡・調整等を担当しています。

県庁では、企画、総務、商工、福祉、土木などこれまで色々な部署を経験してきましたが、当研究センターのような研究施設への異動は今回が初めてでしたので、最初は戸惑いもありましたが、職員の皆様のご協力により、ようやく全体が把握できるようになりました。

これからも、職員の皆様の話や意見を聞きながら、より働きやすい職場環境となるよう、努めていきたいと思っています。

また、このような最先端施設が佐賀にあることは、大変誇りでもありますので、少しでも多くの方にこの施設を知っていただけるよう、また、利用をしていただけるようこれからもしっかりPRを行っていききたいと思います。

Q2 趣味など、自己紹介をお願いします

身体を動かし、汗をかくことが好きなので、30年近く硬式テニスをやってきましたが、土日も小学3年生になる娘の相手で、ゆっくりテニスが出来ないのが、現在は、隙間時間を利用して、ジョギングを楽しんでいます。

今は空前のマラソンブームで、各地でたくさんのマラソン大会が開催されていますので、年数回、家族旅行を兼ねて大会に出ることも、私の楽しみの一つになっています。

総務課 池田 まどか

Q1 業務内容や今後の抱負などを教えてください

総務課に所属しており、諸費用の支払等の出納業務、消耗品の発注等の庶務業務、来客対応、宿泊施設の受付などを行っています。

この施設で働き始めて1年が経ちますが、まだまだ不慣れな点も多く、戸惑うこともあります。職員みなさんに助けていただき、日々楽しく仕事をしています。

総務課の仕事は表に出ることは少ないため、ユーザーの方々と接することはあまりありませんが、少しでも皆さんのお役に立てるよう、丁寧迅速な事務処理に努めていきます。

Q2 趣味など、自己紹介をお願いします

これまでは特に目立った趣味はなく、おいしいご飯とおいしいお酒を飲むことぐらいしか楽しみはなかったのですが、最近はキャンプに出掛けたりBBQをすることが休日の一歩の楽しみです。

大分や熊本のキャンプ場に行き、テントやいろんな道具を使って大自然の中に快適な空間をつくりあげて、友人達とたき火を囲んでのんびりしている時間が最高に幸せです。満天の星を眺めながらのビールはもちろん格別です！！

中々遠出できないときには、近くの公園や河川敷でBBQをしてアウトドアな気分を楽しんでいます。

とはいっても、寒さは苦手なので今シーズンのアウトドアは春まで休憩することにして、当面はショッピングや温泉、もちろんおいしいご飯とお酒でリフレッシュしたいと思っています。





ビームライングループ 馬込 栄輔



Q1 業務内容や今後の抱負などを教えてください

ビームライングループに所属しています。

SAGA-LSで利用できるビームラインの中で、比較的エネルギーの高い硬X線を用いるビームラインを担当しています。実験装置の立ち上げ、調整を行い、ビームラインを利用されるユーザーの皆さんをサポートする業務を行なっています。

また研究者として、シンクロトロン光を利用して結晶構造を明らかにし、その構造と物性の関係を解明する研究を行っています。ビームラインや実験装置の性能を最大限に引き出し、さらにその装置を用いた研究例を示すことで、多くのユーザーの方にSAGA-LSを利用して良い成果を出して頂けるように頑張っていこうと思います。

Q2 趣味など、自己紹介をお願いします

趣味はいろいろありますが、最近はスポーツ観戦です。スポーツ全般好きですが、中でも野球が特に好きです。前職では広島におりましたので、頻繁に広島スタジアムに観戦に行っていました。当研究センターがある鳥栖市にはサッカーチームがありますので、スタジアムで観戦したいと思っています。

最近、私に第一子が誕生しました。親バカですが異様に可愛いです。そのため休日は子供をあやしたり、おむつを変えたりとお世話に明け暮れています。子供の成長を楽しみながら、休日を過ごしています。

利用企画課 田中 慎一

Q1 業務内容や今後の抱負などを教えてください

当研究センターでは安全管理室と利用企画課（兼務）の業務を担当しております。安全管理室での私の主な業務は、当研究センターを利用されるユーザーの化学薬品持込審査や放射線管理区域への立入りに必要な放射線業務従事者登録などの事務手続きです。また利用企画課での業務は公的研究費の管理（科研費の申請、内部規程の整備等）や外部機関により設置されたビームラインの利用に関係する事務などです。

平成28年4月に佐賀県地域産業支援センター本所（佐賀市）から当研究センターに異動になりました。前の部署では佐賀県内中小企業（機械・金属製造業）の取引斡旋業務（商談会や展示会への出展など）を担当していました。業務内容が大きく変わり戸惑うことも多くありましたが、半年を過ぎやっと慣れてきましたので、今後は更に日々の業務に励みたいと思います。

Q2 趣味など、自己紹介をお願いします

学生時代は中学、高校とテニスをしていましたが、最近では運動不足のためランニングを始めました。今年初めて「さが桜マラソン」（佐賀市）に出場しましたが、練習不足のため完走できなかった（20 km地点の吉野ヶ里公園まで走れず．．．）ので、フルマラソン完走を目標に頑張っています。





利用企画課 東山 理佳



Q1 業務内容や今後の抱負などを教えてください

昨年11月より、利用企画課にてお世話になっております。主な業務は、ユーザーの皆様が当研究センターを利用される際の諸手続き、利用報告書の管理、見学のご案内などです。

今の仕事に就いてようやく1年になりますが、まだまだ同僚のフォローありきの仕事ぶりです。研究センターの窓口として、皆様のご利用をスムーズにご案内できるよう、一つ一つ丁寧に仕事をこなしていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

Q2 趣味など、自己紹介をお願いします

「趣味は読書」といったらあまりにもありふれているでしょうか。本こそ10分でも全く別の時空にいざなってくれる手ごろなツールといえるでしょう。大きな本屋さんの棚一つ一つをじっくりと見て歩き、自分の読みたい本をゆっくりと選ぶ時間も大好きです。

学生時代から繰り返し読んでいる本は『坂の上の雲』と『続あしながおじさん』。それぞれに背景は全く違うものの、困難をひたむきに乗り越える人々の姿勢に元気をもらっています。

年末はミステリなど一年を振り返る書評が雑誌や新聞の紙面を賑わします。それぞれを読み比べてお正月に読む本を決めるのも楽しみです。「積ん読」が増える時期でもあるのですが。

みなさま
どうぞよろしく
お願いいたします♪



Event

佐賀のイベント情報をお届けします！



佐賀県内で行われるイベントをご紹介します。

イベントの詳細は「[あそぼ～さが](#)」（社団法人佐賀県観光連盟）をご覧ください。



佐賀バルーンミュージアム

日時：2016年10月1日(土)～

場所：佐賀バルーンミュージアム

アクセス：佐賀駅下車徒歩20分／佐賀駅バスセンターから県庁方面「県庁前」下車徒歩2分
日本初の気球をテーマとする常設展示館が2016年10月にオープン。操縦の疑似体験ができるバルーンフライトシミュレーターなど、実際に気球を体感できます。気球がもっと身近に感じられること間違いなしです。



第13回 有田雛（ひいな）のやきものまつり

日時：2017年2月4日(土)～2017年3月20日(月)

場所：有田町（有田町内の各商店・有田館）

アクセス：【車】波佐見有田ICから5分

【JR】上有田駅・有田駅下車（有田館へは有田駅から車で5分、上有田駅から徒歩で15分）

柿右衛門やマイセンのひな人形の競演や世界最大の磁器製ひな人形（有田焼）の展示など、有田ならではの焼き物にこだわったひなまつりイベントです。町内飲食店では期間限定雛まつり限定メニューでのおもてなしも。陶器の里、有田らしい春を感じにおでかけしませんか？



第17回佐賀城下ひなまつり

日時：2017年2月11日(土)～2017年3月31日(金)

場所：佐賀市歴史民俗館、徴古館ほか

アクセス：JR佐賀駅からバス10分

佐賀藩鍋島家に伝わる由緒あるお雛様や鍋島小紋を纏ったお雛様たちが華やかに春の訪れを告げるイベントです。様々な歴史的建造物が並ぶ佐賀の街を、きらびやかなお雛様を訪ねての散策はいかがでしょう。美しいレンガ造りの旧古賀銀行内のカフェでは、ひな懐石などのお食事もできます。



弥生が丘のおすすすめランチ



九州シンクロトロン光研究センター周辺にあるおすすめのお店をご紹介します。
お昼ごはんに、お散歩がてら足を運んでみてはいかがでしょうか？

second stage(セカンド ステージ)

九州シンクロトロン光研究センターから、徒歩圏内にあるカフェレストラン「second stage(セカンド ステージ)」。かわいらしい猫をあしらった看板が目印の、ついふらりと立ち寄りたくなるお店です。

おいしくてボリューム満点のメニュー

多くのドリンクメニューに加えパスタ各種、シシリアンライスや鶏子丼など、多彩なメニューがそろっており、毎日通いたくなること間違いなし。また冬限定メニュー「かぼちゃドリア」は寒い季節にぴったり。ぜひお見逃しなく！



佐賀の名物グルメ「シシリアンライス」(味噌汁付き)は、甘辛いタレのお肉とたっぷりの野菜が相性バツグン。女性はもちろん男性も大満足の一品です。



自家製ゆずを使った創作料理、「柚子とチキンのペペロンチーノ」などこの店ならではのメニューもうれしい。

どのメニューもボリューム満点。おなかもココロも満たされます♪



ゆったりとくつろげる店内

喫茶店巡りがご趣味だったというオーナー。旅先で、一日に何軒もお店をハシゴしたことも。そうしたオーナーのこだわりが隅々まで行き届いた店内は、初めて来た人も、どこかほっとする、懐かしい気持ちにさせてくれます。ゆっくりとしたひとときを過ごしたい人におすすめです。



店内には、昔なつかしの暖炉が。寒い時期には、実際に薪をくべて使われているそうです。暖房とは一味違ったあたたかさがあります。体がぼかぼか温まれば、話も心も弾み、本音もポロリ。おいしい料理とともに語り合う、至福のひとときをどうぞ。



木のぬくもりあふれる店内で心もほっこり。

明るく笑顔がすてきなオーナーさん

突然のお願いにも関わらず、取材を快くお受けして下さったオーナーさん。笑顔でたくさんのお話を聞かせて下さいました。お話を聞くなかで、お客様に「喜んでもらいたい！」という思いがとても伝わってきました。また取材中にも、お友達の方がお土産を持って訪ねて来られるなど、その明るい人柄もお店の魅力のひとつ。センターをご利用の際はぜひ、セカンドステージでランチを楽しんでみてくださいね♪

second stage(セカンド ステージ)

佐賀県鳥栖市弥生が丘6丁目305番地

TEL:0942-84-2258

■営業時間

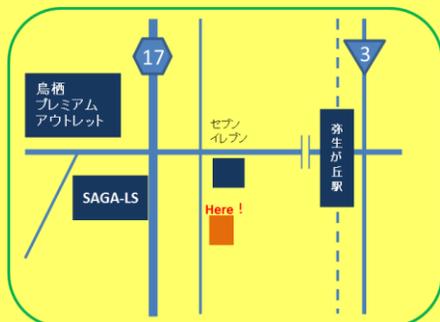
・10:00~17:00

■店休日

・月曜日

■駐車場

・あり





編集
後記



当研究センターの南側に小さな神社があります。
お社の屋根に梅の花の飾りがある、天満宮です。
大きな木々に囲まれて静かにおわします天神さま。

師走の音が聞こえる11月下旬、
氏子さんたちがしめ縄飾りを新しいものに換え、
大きなのぼりを立てて、初詣に備えます（表紙写真）。

地元の方々に長く慕われてきた天神さま。
皆様もお参りしてみてもはいかがでしょうか。

